



平成28年9月5日

治療が難航している小児がんへのアプローチ
～研究成果討論会を開催します～

この度、治療が困難で進行した小児がんに対する研究成果を公表し、医療関係者に最新の医学知識について情報共有していただけるよう、下記のとおり研究成果討論会を企画しました。

なお、この討論会は医療関係者だけでなく、小児がん患者や家族関連団体の皆様にも研究の取り組みや成果を知っていくことで、将来に向けた治療に対する知識等を早くから知っていただける内容になっています。

お忙しい中を大変恐縮ではございますが、ぜひご参加いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

日時：2016年9月22日（祝・木）13:00～14:30

会場：キャンパスイノベーションセンター東京5階 508
リエゾンコーナー（東京都港区芝浦3-3-6）

内容：

- 13:00～13:05 開会挨拶
- 13:05～13:20 「神経芽腫への取り組み」
- 13:20～13:35 「肝芽腫・胚細胞性腫瘍へのアプローチ」
- 13:35～13:50 「施設／地域の枠を越えて陽子線治療を利用するために」
- 13:50～14:05 「臨床試験をすすめるための支援体制」
- 14:05～14:25 総合討論
- 14:25～14:30 閉会挨拶

対象者：医療関係者、臨床研究コーディネーター（CRC）、
情報提供・相談支援関係者、小児がん患者、家族関連団体の皆様

申込み：FAX またはメールで必要事項を記入の上、申し込みください。

申込期限：9月12日（月） 定員になり次第、受付を締切ります。

定員：30名

参加料：無料

【お問い合わせ先】

広島大学自然科学研究センター 檜山 英三
TEL/FAX：082-257-5416
E-mail：syouge@hiroshima-u.ac.jp

発信枚数：A4版 2枚（本票含む）

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) 革新的がん医療実用化研究事業
 「難治性小児悪性固形腫瘍における診断バイオマーカーの同定と
 新規治療法の開発に関する研究」
 (研究開発代表者 檜山 英三 広島大学自然科学研究支援開発センター教授)

治療が難航している小児がんへのアプローチ ～研究成果討論会を開催します～

2016年9月22日(祝・木)13:00～14:30

会場: キャンパスイノベーションセンター東京5階 508 リエゾンコーナー
 (所在地) 東京都港区芝浦3-3-6

対象: 医療関係者(医師、看護師など)、臨床研究コーディネーター (CRC)、
 情報提供・相談支援関係者、小児がん患者、家族関連団体の皆様

【プログラム】

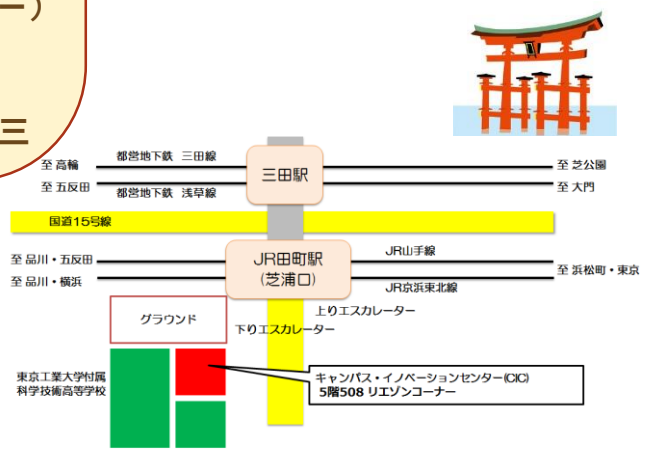
- 13:00～13:05
開会挨拶
「はじめに: 研究班の取り組みについて」
代表者 檜山 英三
(広島大学・自然科学研究支援開発センター)
- 13:05～13:20
「神経芽腫への取り組み」
松本 公一(国立成育医療研究センター)
- 13:20～13:35
「肝芽腫・胚細胞性腫瘍へのアプローチ」
檜山 英三
- 13:35～13:50
「施設/地域の枠を越えて陽子線治療を利用するために」
福島 敦(筑波大学医学医療系)
- 13:50～14:05
「臨床試験をすすめるための支援体制」
瀧本 哲也(国立成育医療研究センター)
- 14:05～14:25
総合討論
- 14:25～14:30 閉会挨拶 檜山 英三

参加要項

- FAXまたは、メールにてお申し込み下さい。
 OFAX: 082-257-5416
 OE-mail: syouge@hiroshima-u.ac.jp
 氏名、所属(部署、住所、電話番号)、
 職業(資格)、メールアドレスをご記入の上、
 「研究成果討論会参加希望」とお書き下さい。
- 申込者数が定員を超過したことにより参加をお断りする場合のみ、ご連絡致します。
 ※記載された個人情報は本事業のみに使用します。
 - 参加料 無料
 - 定員 30名
 - 申込期限 平成28年9月12日(月)
 (定員になり次第、申込み受付を締め切らせて頂きます。)
 - お問い合わせ
 広島大学自然科学研究支援開発センター
 檜山 英三
 FAX: 082-257-5416
 E-mail: syouge@hiroshima-u.ac.jp

【会場へのアクセス】

- ・JR山手線・京浜東北線-田町駅(芝浦口)
下車 徒歩1分
- ・都営三田線・浅草線-三田駅下車 徒歩5分



共同開催: 革新的がん医療実用化研究事業「Adolescent and young adult (AYA) 世代に及ぶ骨・軟部肉腫ならびに固形がんに対する妊娠、晩期合併症に考慮した治療プロトコール開発に関する研究」(研究開発代表者 黒田 達夫 慶應義塾大学教授)
 臨床研究・治験推進研究事業「転移性肝芽腫に対する薬剤開発戦略としての国際共同臨床試験」(研究開発代表者 檜山 英三 広島大学教授)